

理科ヲ省ク

研究科ニ於テ課スヘキ学科目ハ男子ニアリテハ修身及ヒ公民科
農業トシ女子ニアリテハ修身・家事・裁縫・農業トス、

第七條 本校各科目ノ教程及教授時數ハ之ヲ別表ノ如ク定ム、

第四章 學年及ヒ教授時期

第八條 本校ノ學年ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル、

第九條 本校各學年ノ學期ハ之ヲ二學期ニ分ツ、

第十條 本校教授ノ時期及時刻ヲ定ムルコト左ノ如シ、

男子部

第一學期 自四月至九月 毎月二日以上晝間教授ヲ行フ、

第二學期 自十月至三月 毎日夜間教授ヲ行フ、但 研究科ハ毎週
三日トス、

女子部

第一學期 自四月至十二月 毎月二日以上晝間教授ヲ行フ、

第二學期 自一月至三月 毎日晝間教授ヲ行フ、

第五章 休業日

第十一條 本校休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ、

一、日曜、祝祭日、

二、夏期休業 自八月一日至八月三十一日、

三、冬期休業 自十二月十五日至翌年一月七日、

四、春期休業 自三月十六日至四月七日、

第六章 入學及退學

第十二條 本校ニ入學スルコトヲ得ルモノ左ノ如シ、

一、前期 尋常小學卒業生及之ニ準スヘキ者、

二、後期 前期ノ課程ヲ卒ヘタル者及高等小學校卒業生
又ハ之ニ準スヘキ者、

三、研究科 後期卒業生又ハ之ト同等以上ノ學力技能ヲ有スル者、

本校生徒ノ入學ハ每學年ノ始トス、

第十三條

第十四條

入學志願者ハ保護者又ハ雇傭者連署ヲ以テ本校長ニ届出ツヘシ

第十五條

退學セントスル者ハ其事由ヲ具シ保護者又ハ雇傭者連署ヲ以テ本校長ニ願出ツヘシ

第七章 卒業及修業

第十六條

本校課程ノ卒業及修業ハ平素ノ成績ヲ考查シテ學校長之ヲ認定スルモノトシ必要ノ場合ニハ試験ノ上之ヲ決ス

第十七條

本校後期ノ課程ヲ卒ヘタル者ニハ卒業證書ヲ前期ノ課程ヲ修了シタルモノニハ修業證書ヲ授與ス
但シ 其書式ハ別表ノ如シ

第八章 授業料

第十八條

授業料ハ之ヲ徵集セス、但シ他村ヨリ通學スルモノニ對シテハ年額金壹圓五拾錢ヲ納付セシム

第九條

第九章 補則

本學則施行ニ関スル細則ハ學校長之ヲ定ム

一 本校證書書式

イ 卒業證書

ロ 修業證書

卒業證書

校印 氏名 生年月日

本校所定 (修業年限 六(四)箇年)

ノ課定ヲ卒業セン

コトヲ証ス

大正 年 月 日

東京府西多摩郡

熊川村立農業公民學校長

氏名 印

第 號

修業證書

氏名 生年月日

本校前期ノ課程

ヲ修業センコトヲ

証ス

大正 年 月 日

東京府西多摩郡

岸村立農業公民學校

本校各學科目教程及教授時數表
一男子部

前期										後期									
學科		教 程		一學年	二學年	計	學科		教 程		一學年	二學年	三學年	計					
修身	道德、要旨	二〇	二〇	二〇	二〇	四〇	修身及公民科	道德、要旨	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	一六〇					
國語	普通文講讀 作文 習字	六〇	六〇	六〇	六〇	一二〇	國語	普通文講讀 作文	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	一六〇					
數學	算術 珠算	五〇	五〇	五〇	五〇	一〇〇	數學	實用數學	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	八〇					
理科	理科大意 農業大意	四〇	四〇	四〇	四〇	一六〇	歷史	我國體大要	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	四〇					
體育	體操 放線 武道	三〇	三〇	三〇	三〇	一二〇	地理	本邦國勢要	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	四〇					
音樂	競技 音樂	三〇	三〇	三〇	三〇	一二〇	理科	理科大意	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	八〇					
計		二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	八〇〇	農業	本村農業通 切實事項	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	二四〇					
							體育	體操 放線 武道	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	一六〇					
							音樂	道 音樂 競技	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	一六〇					
計		二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	八〇〇	計		二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九六〇					

二女子部

前期							後期						
學科	科目	教	程	一學年	二學年	計	學科	科目	教	程	一學年	二學年	計
修身	道德、要旨	二〇	二〇	四〇	二〇	二〇	修身	道德、要旨、作法、公民心得	三〇	三〇	六〇	三〇	六〇
國語	普通文講讀、作文、習字	四〇	四〇	八〇	四〇	四〇	國語	普通文講讀、作文	五〇	五〇	一〇〇	五〇	一〇〇
數學	算術、珠算、筆算	三〇	三〇	六〇	三〇	三〇							
理科	理科大意	一〇	一〇	二〇	一〇	一〇							
家事	家事、大意	二〇	二〇	四〇	二〇	二〇	家事	衣食住育兒看護、家計、開支、裁縫、縫衣、縫方、縫衣類					

男子部

女子部

164

165

村長

助役

福至第七九二號

大正 大正
年 年
月 月

日發案
日決裁

淨書

校合

七月六日發送
往復主任

同系書己

組合長

東京府立中央

大正五年六月十九日

高世合得公
元會即日謀
事定

仁者為己，利者為人。利己而後利人，此仁者之用心也。利己而後利人，此利者之用心也。

お傍に安んずる報告を

第六卷

第九番

第十一番

吉成幸

卷本八十八

田村 彌三郎

第一套五年度福壽村戶稅戶數割算定件
第二套 年度鹽村戶稅戶數割算定件

大正十五年九月廿一日午後一時開會

出席員左一通

第一番

第二番

第三番

第五卷

第六卷

第九

第十一

内出猪十郎

森田廣助

秋山左右助

井上長吉

古坂幸三郎

卷八十八

田村 彌三郎

第十三番

第十四番

第十五番

第十六番

第十七番

第十八番

第十九番

第二十番

第二十一番

第二十二番

第二十三番

第二十四番

第二十五番

伊東竹次郎

古谷忠次郎

加藤市藏

壽崎金太郎

田村八郎

青木作太郎

林野吉五郎

林野金藏

欠席員左一通

組合會議員

第四番

第七番

児島七三郎

井上久右門

第八番

第十番

第十一番

第十五番

小林春一

石川豊次郎

内田近之助

林尾傳二郎

助役(箕谷半吉門)ハ組合長(森田退藏)故障ニ付

代理スル旨ヲ述ベ開會ヲ告ゲ議員児島七三郎井

上久右門小林春一石川豊次郎内田近之助村尾

傳二郎ハ欠席ノ旨ヲ報告是ヨリ議長職ヲ執

ル旨ヲ告ゲ

附議事項

第一本五年度福生村府税ノ數割算定ノ件

第二本五年度福生村府税ノ數割算定ノ件

第三本五年度福生村府税ノ數割算定ノ件

議長(勸業委員長) 第一読会 書記朗読

議長本案ヲ第二読会ニ移スハキヤヲ會議ニ諮ヒシ

第二読会

第一番(内出猪十郎)原案ノ通リ可決スベシト述ブ賛成
者々多數アリ

議長第一番説ニ付採決セシニ全会一致原案ノ通可
決ス

議長滿場異議ナキヲ認メ第三読会ヲ有界第二
読会議決ノ通確定ノ旨ヲ宣ス

第三大正五年度鐵道府稅金數割算定ニ付

議長(勸業委員長) 第二読会 書記朗読

議長本案ヲ第二読会ニ移スハキヤヲ會議ニ諮ヒシニ

異議ナシ依テ本案ヲ第二読会ニ移ス旨ヲ宣ス

第二読会

第六番(古谷幸三郎)原案ノ通リ可決スベシト述ブ賛
成者々多數アリ

議長第六番説ニ付採決セシニ全会一致原案ノ通
可決ス

議長滿場異議ナキヲ認メ第三読会ヲ有界第二
読会議決ノ通確定ノ旨ヲ宣ス

議長(勸業委員長) 是ニテ提出議案全部議決シ
タル旨ヲ告ゲ議長席ヲ退ク

組助役(佐々木五郎)閉会ヲ宣ス
千時午右ニ時三十分

右ハ會議ノ顛末ヲ録シ議長議員左ニ署名ス



大正十五年六月十九日

議長

助役

議員

全全全全全全全全全全

佐本 才生 氏

古谷 幸三 郎

加藤 市藏

井上 長吉

田村 八郎

森田 廣助

内出 猪十郎

古谷 忠次郎

秋山 左右郎

伊東 市子 氏

田村 清一郎

筆本 八十八



議員

吉田 清金 氏

志人別謀續別紙通

二大正十五年分納税額及納税者数調査報告書

東京府西多摩郡府前生木倉川本組合役場

議案第一號

大正十五年度府税戸數割配當額ニ對シ本組合ハ所得額及住家坪數ノミニ依ル適當ナラズト認メ資産ハ狀況ヲ斟酌シ尤歩合ニ依リ算定賦課スルモノトス
一金四千七百七圓九拾八錢
福生村配當額

内

金參百九拾八圓七拾參錢	住家坪數ニ對スル課額	戸數割總額	十今、〇、八五
但シ住家坪數壹萬參千貳百九拾壹坪	壹坪ニ付金參錢		
金四千參拾九圓八拾錢	所得額ニ對スル課額	金	十今、八、五八
但シ總所得額拾參萬四千六百六拾圓	壹圓ニ付金參錢		
金貳百六拾九圓四拾五錢	資産狀況ニ依ル課額	金	十今、〇、五七

大正十五年四月一日現在納税義務者人員六百四拾九人
是人別課額別紙ニ通リ